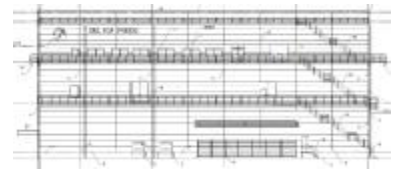


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪新工場計画	階数	地上3F
建設地	大阪府茨木市南目垣	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	349 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年4月26日
敷地面積	4,622 m ²	作成者	中設エンジ(株)
建築面積	1,996 m ²	確認日	2023年4月27日
延床面積	5,455 m ²	確認者	中設エンジ(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項			
総合	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー性能に配慮している。 サービス性能、資源マテリアルの確保に努めている。 	その他 <ul style="list-style-type: none"> 特に無し。 	
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> 対象外。 	Q2 サービス性能 <ul style="list-style-type: none"> 外壁仕上の金属サイディング、換気ダクトのステンレス鋼板等、耐用年数の長い不品部材を採用している。 階高3.90m以上。 壁長さ比率: 0.11。 	Q3 室外環境(敷地内) <ul style="list-style-type: none"> 特に無し。
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> BEm=0.00。 	LR2 資源・マテリアル <ul style="list-style-type: none"> 自動水栓に加え、節水型便器の採用。 リサイクル材を活用している。 OAフロア、LGS下地を採用。 	LR3 敷地外環境 <ul style="list-style-type: none"> LCCO₂排出率=51%。 チェックリストの一部を満たす、広告物照明無し。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0011

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)大阪新工場計画					
	建設地	大阪府茨木市南目垣					
	用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					5	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					評価対象外	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.9	5
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		-
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入	太陽光発電設備	144KWの太陽電池アレイを導入した
特に配慮した事項	・BPImを0.00とした。	